

評価シート(令和4年度分)

基本情報

施設名	背振少年自然の家・海の中道青少年海の家	指定管理者	あゆみらい福岡市自然の家共同事業体
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日 (評価期間は令和4年4月1日～令和5年3月31日)	所管課	子ども未来局子ども政策部子ども健全育成課

1 業務の履行に関する評価

A～C

評価項目	評価	評価の理由
1 施設の運営	A	改善指示・指導の実績なし
2 施設等の維持管理	A	改善指示・指導の実績なし
3 事業の実施	A	改善指示・指導の実績なし

2 サービスの質に関する評価

A～E

評価項目	評価	評価の理由
1 施設の利用状況 (1) 利用者数 (2) 収入 (3) 特に成果をあげた事項等	C	・新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用のキャンセルや自然教室の日数の短縮化により利用者数、収入ともに目標値を下回った。 ・SNSを使った広報や渉外活動を継続し、施設の認知度向上及び利用促進に努めた。
2 事業の実施状況 (1) 指定管理者企画事業の参加者数(達成率) (2) 指定管理者企画事業の参加者満足度 (3) 自主事業の参加者数(達成率) (4) 自主事業の参加者満足度 (5) 特に成果をあげた事項等	B	・コロナ禍でも参加しやすいように、宿泊型に加え日帰りや短時間での自然体験プログラムを提供するなど工夫し、各種事業を実施した。 ・星空観察会を脇山地区や吉野ヶ里町で初めて実施し、また、公民館に向いて出張自然教室を開催するなど、「出張型」の取組みを強化した。 ・海上プログラムにおいては、従来のカッター体験に加え、「親子カヤック体験」を初めて実施し、高い満足度を得た。 ・参加者満足度は、実施した全ての事業で目標値を上回った。
3 利用者満足度 (1) 利用者アンケートの結果 (2) 利用者からの意見・苦情等への対応	A	・利用者満足度は両施設とも非常に高かった。 ・意見や苦情等については、会議等で共有し、随時改善を図っている。
4 提案の実施状況 (1) 施設の設置目的を踏まえた管理運営方針 (2) 管理運営の実施体制 (3) 的確な管理運営のための取組 (4) 安全・安心 (5) 利用者に対するサービスの向上 (6) 事業の実施計画 (7) 学校利用への基本的な考え方 (8) 管理に要する経費 (9) 市の施策に寄与する取組等	B	・新型コロナウイルス感染症や天候の影響により実施できなかったものもあるが、全ての項目において提案の大部分が実施されている。

3 経済性・効率性に関する評価

A～C

評価項目	評価	評価の理由
1 収支の実績	B	収支は両施設全体として黒字を確保した。
2 経費の縮減	B	施設の維持管理を含め、施設運営全般で経費縮減に努めた。

4 その他施設の管理運営に当たり工夫し成果をあげた取組等(加点事項)

- ・自然教室の前に「オンラインによる事前オリエンテーション」を実施し、時間の効率化、忘れ物の減少、児童のモチベーションアップ等大きな成果を上げた。
- ・端材を利用したクラフトづくり体験や海岸の清掃活動など、SDGsに関する取組みを積極的に推進した。

5 指定管理業務における不適切な行為(減点事項)

指導状況	不適切な行為の内容	改善状況
なし		

6 市による総合評価

上記1～5を踏まえ、下記の通り評価を行う。

B	<p>令和4年度の前半は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響があり、主な利用者である小中学校の自然教室の中止や期間短縮が一定数見られた。状況が日々変化の中で、利用者が安心・安全に利用できるように、状況に応じた感染症対策を講じ、また危機管理にも十分配慮しながら、施設を運営したことは評価できる。</p> <p>令和4年度は、第2期の指定管理期間の最終年度ということで、次期の運営も念頭に、SDGsや地域連携の推進、SNSの活用強化など、積極的に新たな取組みを実施した。</p> <p>利用者数は目標には達していないが、コロナが落ち着いた年度後半以降は回復傾向にあり、施設職員の様々な創意工夫が利用者の高い満足度につながったものと評価する。</p> <p>一般利用を増やすため、あらゆる機会やツールを活用して積極的に広報活動を行っており一定の成果が出始めているが、さらなる利用者増に向けてより一層の認知度向上の取組みが期待される。</p>
----------	---

【総合評価】 A:非常に優れている B:優れている C:標準 D:少し劣っている E:劣っている

《評価基準・配点割合》

《項目別得点》

1 配点: 30 基準点: 21 最低: 9

A	改善指示・指導の実績無し	10点
B	改善指示(口頭)の実績あり	7点
C	改善指導(注意)の実績あり	3点

30点

2 1～3

配点: 75 基準点: 45 最低: 0

A	非常に優れている	25点
B	優れている	20点
C	標準	15点
D	少し劣っている	10点
E	非常に劣っている	5点

60点

2 4

配点: 25 基準点: 15 最低: 5

A	全て実施	25点
B	ほとんど実施	20点
C	概ね実施	15点
D	実施が不十分	10点
E	極めて不十分	5点

20点

3 配点: 20 基準点: 14 最低: 6

A	優れている	10点
B	標準	7点
C	劣っている	3点

14点

4

特筆すべき成果1項目につき 10点加点
評価項目数・・・ 2項目

20点

5

業務の停止・改善指導等の実績による減点

0点

6 配点: 150 基準点: 95 最低: 20

A	150点以上	全ての項目の評価が「優れている」以上
B	110点 ～ 149点	「A」と「C」の間
C	81点 ～ 109点	基準点(全ての項目の評価が「標準」)±15%
D	21点 ～ 80点	「C」と「E」の間
E	20点以下	全ての項目の評価が「劣っている」以下

144点